



緑茶の購入数量

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

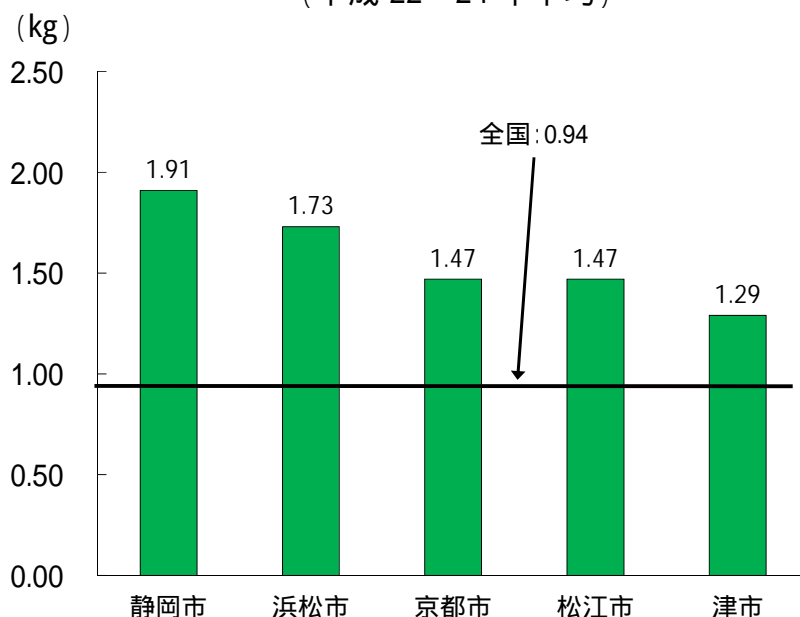
5月も半ばを過ぎ、新茶が出回る時期になってきました。新茶は茶葉の香り、色、味など五感を使って楽しみたいものです。そこで、今月は緑茶（茶葉）の購入数量について、家計調査の結果からみてみましょう。

購入数量 1位は静岡市、2位は浜松市

緑茶の購入数量を品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市別（平成22～24年平均）にみると、1年あたりの購入数量が多い順に、静岡市（1位）、浜松市（2位）、京都市（3位）、松江市（4位）、津市（5位）となっています。1位である静岡市の購入数量（1.91kg）は、全国平均（0.94kg）の約2倍となっています（図1）。

緑茶の有名な産地に近い静岡市、浜松市、京都市、津市のほか、古くからお茶と馴染み深い松江市などが上位となっています。

図1 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市別 緑茶の購入数量
（平成22～24年平均）



平成19年4月1日現在において政令指定都市であった川崎市、浜松市、堺市及び北九州市。